

事業番号	05 04 03	事業改善シート（令和7年度実施事業分）		■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	戦没者等援護事業	部局	健康福祉部	課・室	地域福祉課		
		実施期間	S25 ～	E-mail	chiiki-fukushi @ pref.nagano.lg.jp		

1 現状と課題

戦没者遺族や中国帰国者の高齢化に対応した支援を実施していく必要がある。

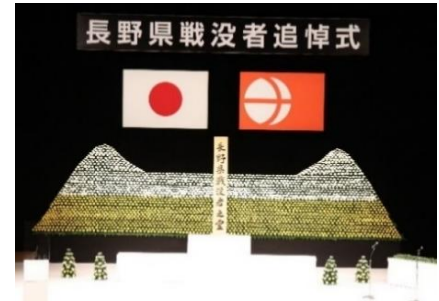
2 事業目的

- ・先の大戦における戦没者を追悼することにより、県民が平和の尊さを理解し、平和を祈念することに寄与する。
- ・戦後幾多の困難を乗り越えて祖国日本へ帰国した中国帰国者が、言葉や生活習慣の違いから孤立することなく、地域で安心して穏やかに暮らせるよう生活上の困りごと等に対し中国語による相談支援等を行う。

3 事業目的を達成するための取組

①戦没者の慰霊

- ・県民が平和の尊さを理解し、平和を祈念することに寄与するため、県民が戦没者の追悼と、平和を祈念する事業への継続実施
- ・長野県戦没者追悼式の実施、全国戦没者追悼式への代表遺族の派遣、沖縄「信濃の塔」慰霊・戦跡巡拝（主催：長野県遺族会）への補助等



②中国帰国者の地域生活への支援

- ・中国帰国者の生活上の困りごと等に対応するため、中国帰国者支援相談員を5名配置
- ・中国帰国者が言葉や生活習慣の違いから孤立することなく、暮らせるように、日本語教室の開催、通訳の派遣 等を実施

③中国帰国者の援護

- ・訪日調査において身元が判明しなかった中国残留孤児について、きめ細やかな肉親調査を実施するため、元開拓団関係者である当時の事情に精通した者を身元未判明孤児肉親調査員として2名配置

4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし - : 数値なし)

No.	指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込			
	指標なし								

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印は主要目標）	単位	直近3か年/年度分の状況						目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値
4-2①	年齢・性別・国籍・障がいの有無や経済状況等が障壁とならない公正な社会の創出										

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R7年度	予算案	2月上旬公表予定		0			2.0
	要求	30,991		30,991	14,716		
R6年度	0	29,667	0	29,667	13,429		2.0
R5年度	0	27,650	0	27,650	11,432	24,715	2.0

事業番号	05 04 03	細事業一覧（令和7年度実施事業分）		■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検		
事業名	戦没者等援護事業		部局	健康福祉部	課・室	地域福祉課

細事業 No.	細事業名		R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	
1	戦没者慰霊事業		7,547 千円	7,409 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 7,523 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	長野県戦没者追悼式の実施	直接	本県出身戦没者を慰霊するため、遺族等の参列のもと、県主催にて追悼式を実施。 R7.10.18（土）に伊那文化会館で実施予定			
2	全国戦没者追悼式への代表遺族の派遣	直接	政府主催の全国戦没者追悼式に、本県代表遺族を派遣。 派遣人数は未定。 R7.8.15に日本武道館で行われる全国戦没者追悼式に代表遺族を派遣			
3	沖縄「信濃の塔」慰霊戦跡巡拝への補助	補助金	R8.2月実施予定の沖縄「信濃の塔」慰霊・戦跡巡拝に係る費用の一部（追悼式開催経費及び参列遺族旅費）を補助 補助先（一般財団法人長野県遺族会） 遺族旅費補助対象30人程度			
4	沖縄「信濃の塔」維持管理	委託	本県が所有する沖縄「信濃の塔」周辺を良好な状態での維持管理を実施 委託先（公益財団法人 沖縄平和祈念財団） 維持管理に係る委託料500,637円を支出			
5	慰霊巡拝事業	直接	政府主催の海外慰霊事業及び郡市主催の戦没者追悼式等に知事名で供花料を支出 郡市戦没者慰霊式10か所及び、政府主催の慰霊事業等に供花料を支出予定			
6	満蒙開拓平和記念館協力金支給事業	直接	満蒙開拓平和記念館が創設した「自治体パートナー制度」へ加入し、協力金を支出 50千円×10口 = 500千円で更新予定。			

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
2	中国帰国者地域生活支援事業	20,013 千円	22,168 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 23,378 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	中国帰国者支援相談員による支援	直接	帰国世帯の日常生活の相談・指導を行うため、中国語会話のできる相談員（5人）を配置し、支援を実施 県内5保健福祉事務所に配置予定。	
2	日本語教育支援事業	委託	日本語学習の場を提供するため日本語教室を長野県日中友好協会に委託し、実施予定 開催数：364回、延べ1,900人受講予定	
3	通訳等派遣事業	直接	帰国者の生活相談に応じる自立指導員及び医療機関等で通訳を行う自立支援通訳を派遣 被支援者の要望に応じて派遣。県内に7人配置予定	
4	市町村担当者研修会	委託	中国帰国者への理解を深め、地域の状況に応じた支援を考える研修会の開催 県内の支援関係者を対象に1回開催予定	
5	給付金（日本語教室通所活動推進）	直接	日本語教室参加のための交通費を給付 被支援者の利用実績及び請求に応じて給付	
6	スクーリング事業	委託	日本語の遠隔学習（通信教育）を補完するため、講師による対面授業を実施 委託先（長野県日中友好協会） 年間計30回程度を実施予定	
7	中国帰国者支援交流会	委託	下伊那日本語交流サロン等を実施 委託先（長野県日中友好協会） 年間計5回程度開催予定	

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
3	中国帰国者援護事業	90 千円	90 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 90 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	身元未判明孤児肉親探し調査事業	直接	県下を2ブロック（東北信、中南信）に分け、元開拓団関係者である当時の事情に精通した者を調査員として1名ずつ計2名配置 県内に2名配置	